

■日時： 2012年10月26日（金） 17時～18時30分

■場所： 疾患プロテオゲノム研究センター 1F 交流ホール

分裂酵母の クロマチン構造変換機構の解明 ～Chp1の新規機能の解析～

石田 真由美 博士

理化学研究所 神戸研究所

発生・再生科学総合研究センター クロマチン動態研究チーム

■要旨■

ヘテロクロマチンは、セントロメアやテロメアといった染色体の機能領域の構築や、エピジェネティックな遺伝子発現調節に重要な役割を担う高次不活性クロマチン構造です。近年の解析から、分裂酵母におけるヘテロクロマチンの形成にはRNA干渉（RNAi）と呼ばれる機構が関与することが明らかになってきました。石田博士は、この機構において、クロモドメインタンパク質 Chp1 が核酸に対するユニークな結合能を持ち、その活性がヘテロクロマチン構造形成に必須であることを明らかにしました。本セミナーでは、複数存在するクロモドメインタンパク質の機能分担との関連も含めて発表して頂く予定です。

Mol. Cell 47(2), 228-41, 2012.

PNAS 109, 6159-64, 2012

なお、本セミナーは大学院医科学教育部特別講義を兼ねています。

大学院生、教員、学部学生等、興味を持つ全ての方のご来聴を歓迎致します。

問合せ先：疾患プロテオゲノム研究センター
ゲノム制御分野 片桐豊雅

tkatagi@genome.tokushima-u.ac.jp 内線：9477